

先進対策の効率的実施による CO2 排出量大幅削減事業

3,000 百万円(1,000 百万円)

地球環境局地球温暖化対策課市場メカニズム室

1. 事業の必要性、概要

- CO2 排出量の増加が著しく（2009 年には 1990 年比 32%増）、増加に歯止めのかからない業務部門における対策は急務。加えて、全部門の中に占める温室効果ガス排出量の割合が 37.6%と最大の産業部門についても、これまで以上に削減対策に取り組む必要がある。
- なかでも圧倒的な割合を占め、かつ大量の削減余地を有する既存ストックへの対策が重要だが、最大限費用効率性を高めるためには、単に設備導入を行うだけではなく運用改善等により対策の総量削減を担保する仕組みも不可欠。また、既存ストックにおける CO2 削減は、光熱費削減や CSR 的観点からの企業イメージ向上等による資産価値の向上を促すという利点も有する。
- 以上を踏まえ、本事業では既存ストックを対象とし、トン CO2 当たり削減費用を抑制しつつ総量削減を担保する排出枠やリバースオークション等の各種市場メカニズムの最大限活用することで、費用効率的に業務・産業部門における CO2 排出量を大幅に削減することを目的とする。

2. 事業計画（業務内容）

- 事業者は、設備導入と運用改善による削減約束を掲げ、先進的な技術（BAT, Best Available Technology）の中から先進的温室効果ガス排出抑制設備や見える化機器導入に係る補助金（補助率最大 1/3）を申請。
- 削減量当たりの補助額 [円/t-CO2]（補助額/温室効果ガス削減約束量）の小さい、費用効率の良い事業から順番に予算額まで採択（リバースオークション方式）。
- 参加事業者が削減約束量を超過達成した場合には排出枠を交付する一方、達成できない場合には超過排出分の排出枠を購入して目標を遵守することとし、削減総量を担保しつつ、個々のテナントや従業員の削減努力を促す。

3. 施策の効果

- リバースオークションを活用した費用効果的な先進削減対策の導入と 排出枠の付与を活用した運用改善による総量削減。
- 得られた削減に関するデータを活用し、業務・産業部門の削減ポテンシャル把握と費用対効果の高い対策に関する事業者への情報提供を実施。

先進対策の効率的実施によるCO2排出量大幅削減事業（30億円）

必要性

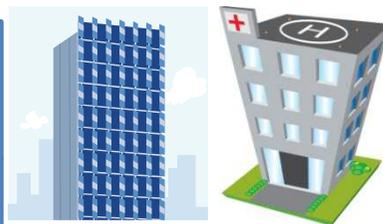
- ① CO2排出増に歯止めのかからない業務部門（10年比32%増）、全部門の中に占める温室効果ガス排出量の割合が37.6%（2010年確定値）と最大の産業部門における対策
- ② 排出量の大部分を占める膨大な数の既存ストックへの対策が最重要
- ③ 対策の費用効率性を高め、かつ総量削減を担保することにより、大量の既存ストックにおいて安く、大量かつ確実にCO2を削減することが必要

概要

関係者全員の削減努力を最大限引き出すため、市場メカニズムを活用

リバースオークションによる費用効率的な先進対策導入

- 事業者は、環境省指定の先進技術BAT（高効率な空調等）を組合せ、削減約束値とともに申請
- 1トンの削減に必要な補助額の小さい順から採択（リバースオークション）し、補助することで、費用効率的な削減対策を実施。



先進対策

運用改善

排出量
大幅

約束の超過削減への排出枠付与による運用改善のインセンティブ

- 見える化機器を活用し、テナントや従業員等が運用改善に努力
- 削減約束量を上回る削減を達成した場合に排出枠を付与することにより、運用改善のインセンティブ強化



排出枠取引による総量削減

- 削減が約束量を下回る場合には排出枠購入により目標達成に活用

設備導入と運用改善により、既存建築物から費用効率的に大幅な総量削減